

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定)・実施

視点	4年間の目標 (令和6年度策 定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりの確かな学力の向上を図り、進路実現に向けた支援を推進する。 ②国際理解教育等を通して、生徒一人ひとりの自立に向けて、視野を広げ豊かな人間性と社会性を育成する。	①生徒の学力向上に資するために学習環境の整備を行うとともに、研修や授業互見等を通じて組織的授業改善に取り組む。 ②姉妹校等交流や留学生との交流活動をとおして、生徒一人ひとりが主体的に取り組める機会を増やし、その機会の推進を図る。	①(1)電子黒板や一人一台端末等ICT機器の利活用の促進を行うなど、多様な学習機会を提供し、生徒が自ら学習する意欲の向上を図る。 (2)研修や授業互見等の際は「考え方」や「教材選び」「生徒目線」等の視点も持つて授業研究を行う。 ②姉妹校交流や海外修学旅行・留学生受入等において、生徒の主体的な活動を引き出し、相手校の生徒と共に意義深い経験となるよう取組を継続する。	①(1)ICT機器の利活用が進んだか。 ・生徒の学習意欲の向上について、授業評価のうちの自己評価の項目において2/3程度以上の生徒がプラスに評価したか。 (2)具体的な方策の視点に立った組織的授業改善に取り組むことができたか。 ②生徒が主体的に取り組める場面や活動満足度が上がったか。					
2 生徒指導・ 支援	①生徒のさまざまな活動の主体性を尊重し、生徒に向き合って、リーダーシップを育成する。 ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制を充実させる。	①生徒組織それぞれの自主的・主体的な運営を促すとともに責任を持たせ、有意義な活動と達成感の向上を目指して、適切な指導と助言を行う。 ②生徒のメンタル面での変化を早期にとらえ、外部人材とも連携を図りながら、適切かつ丁寧な対応を行う。	①生徒会本部及び各種委員会等がそれぞれ課題を認識し目標を立て、協力しながら達成に向けた活動が行われるよう支援する。また、部活動が達成感と育ちあいの生まれる場となり、それが安全な環境で行われるために、支援と環境整備を行う。 ②日ごろの職員間の情報共有及びサポートドック、学校生活アンケートの結果等を活用し、自らSOSを発	①各種活動や行事において、生徒による自主的・主体的な検討及び総括ができたか。また、生徒アンケートで活動満足度が十分に見えたか。 ②サポートドックおよび学校生活アンケートの結果等を適切に活用することがで					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策 定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				せない生徒の早期発見を目指す。学年会や教育相談CO会議等における生徒情報の共有を充実させ、チームによる支援を行う。	きたか。学年会および教育相談CO会議等での生徒情報の共有を充実させ、適切な支援につなげることができたか。					
3	進路指導・ 支援	キャリア教育を充実させ、目的意識を持って学習に取り組む姿勢を育む。	生徒自身が希望する進路について考え方判断する力を育めるよう、家庭とも連携しながら3年間を通して必要かつ適切な支援を行う。	3カ年を通じてキャリアガイドブックの活用、外部テストの受験、現行の教育課程入試への対応、年内入試への対策等を充実させ、系統的な進路指導を行う。	・引き続きキャリア教育プログラム充実を図るとともに、説明会やガイダンス、体験の機会、各種試験を有機的に結び付けて実践することができたか。					
4	地域等との協 働	地域等への貢献活動や教育力の活用を通して、地域に信頼される学校づくりを推進する。	地域理解を図るとともに、地域貢献が生徒の自己肯定感につながるような教育活動を実施する。	①地域貢献活動について、生徒の意見を取り入れる等、主体的な活動となるよう検討や工夫を行う。 ②防災訓練や地域理解活動を通じて、地域との交流を深め、地域防災について連携強化を図る。	①地域貢献活動について、生徒の主体的な活動となるよう検討や工夫したか。 ②地区の防災訓練参加に向けた取組等、地域連携をすすめることができたか。 ・防災教育において地域理解をすすめることができたか。					
5	学校管理 学校運営	①安全・安心で充実した教育環境の整備に努めるとともに、学校の取り組みの情報発信に努める。 ②教員の働き方改革を推進し、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①社会で必要とされる学校となるよう継続した職員・生徒の意識向上を図り、生徒の学習活動においての安全面の向上、また施設の環境整備・充実に努める。 ②働き方改革の指針改定を踏まえた取組を進める。	①清掃計画を立てるとともに環境整備委員や技能員、PTAと協力・連携して、校内美化やゴミの減量化及び資源化に努める。 事務や各機関と連携し、校内の危険個所の修繕などを積極的に推し進める。 ②働きやすさと働きがいの両立に向けて、風通しの良い職場づくりや業務分担・内容の見直しを継続する。	①環境整備体制を整えるとともに各機関との意見交換より校内美化に対する意識や取組が向上したか。 ・危険箇所の修繕・及び安全面に配慮して施設整備を推し進められたか ②職員の時間外在校時間が減少したか。 ・ストレスチェックで高ストレス者の割合が15%未満であったか。					